

## 19-3 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 先人の歴史的な偉業を 地域の誇りとして受け継ぐ 地域づくり

うきは市役所／福岡県うきは市

#### 取組概要

広大な水田地帯が広がるうきは市、しかしこの肥沃な大地は自然のものではなく、江戸時代初期にこの地区の5名の庄屋と農民の協力による灌漑事業で生み出されたもの。この先人たちの偉業は、「五庄屋伝説」として現在まで語り継がれている。

これらの伝説を地域の誇りとして受け継いでいくために、庄屋を祭る神社を建立、小中学校での教育を通して地域の子供たちに伝承するとともに、灌漑事業によってつくられた堰の保全活動が行われている。

また、地域のボランティアによる伝承活動も行われており、地域のプライドを守り育てていく地域づくりが行われている。



#### 取組と成果

##### 取組

- 市による副読本の作成や、小中学校教育への採用
- ボランティアによる紙芝居公演や、用水路内の清掃、舟下り等を通じた「五庄屋伝説」の伝承活動

##### 成果

- 小学生をはじめとして多くの見学者が訪れ、地域のプライドについて学んでいる
- 観光等を含めた地域振興に寄与している

#### 山村振興のキーポイント

「若いうちから地域の誇りを意識できるように」

…授業・副読本による小中学生への教育

#### 関連する組織

- 大石堰土地改良区
- 白壁レディース21

## 19-4 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 地域住民と 都市部の大学生を結ぶ 古民家の修復再生事業

NPO法人文化資源活用協会／山梨県北杜市

#### 取組概要

日本で唯一、明治・大正・昭和の三代の学校が残っていた山梨県須玉町(平成16年に北杜市に合併)では、廃校となり老朽化した大正校舎の修復を住民の手で行っていた。しかし平成10年、大正校舎は農業体験施設として建て替えられる。修復に携わった住民たちは、年月を重ねた地域資源を活かすことの大切さと難しさを痛感した。

この経験により、行政の力に依存せずに地域文化を守る必要性を感じた地域住民たちは、平成11年にNPO法人「文化資源活用協会」を設立、埋蔵文化財の発掘調査や文化財の記録・展示等を行ってきた。平成16年以降は、地域に根ざした空家対策、古民家修復作業やそこでの様々な田舎暮らし体験プログラムを通じた、地域住民と都市部の大学生たちとの交流事業を主に行っている。また、情報化にも力を入れており、地域の歴史や文化を動画配信等で常時公開するウェブ博物館「須玉オープンミュージアム」は、高い評価を受けている。



#### 取組と成果

##### 取組

- 地域の文化財の掘り起こし
- 歴史資料館の運営、インターネット配信等による町の歴史や文化財の展示

##### 成果

- インターネットを介して、遠隔地の視聴者にも地域文化財を公開できるようになった
- (財)高度映像情報センター good site認定

#### 山村振興のキーポイント

「住民にはできない。そう決め付けたとき、自らも自由を失う」

…行政やNPOの情報をもとに、地域課題を住民全体で共有し、地域住民の意識改革を促す

#### 関連する組織

- 北杜市役所

## 19-5 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 現代に残る大正ロマン 根釧台地の格子状防風林の 保全・活用活動

遺産サポート倶楽部なかしべつ／北海道根室管内（中標津町他）

#### 取組概要

大正末期から昭和初期にかけてつくられた北海道の耕地防風林、昭和30年代の大規模農地開発の時代にその大部分が失われたが、根釧台地には今も幅180m、1辺3.3km、総延長648kmにも及ぶ巨大な格子状の防風林が残されている。

この防風林も一時は薪や坑木として伐採されたが、当時の林業関係者の奮闘により復元された。北海道遺産への認定を機に、この意思を継ぎ、さらに発展させる形でこの防風林を残そうと、地域住民が主体の「遺産サポート倶楽部なかしべつ」による防風林の保全・活用への理解を広げる活動や、官民協働でホーストレッキング等の防風林の活用案を考える活動などが行われている。



#### 取組と成果

##### 取組

- ・「遺産サポート倶楽部なかしべつ」による講演会・シンポジウム等の防風林の保全・活用活動
- ・中標津町でのワイズユース大学開催

##### 成果

- ・地域住民が防風林の歴史的価値を再確認
- ・地域づくり分野で活躍する社会人、学生、地域住民が参加して環境について議論した

#### 山村振興のキーポイント

「単なる人寄せ材料ではなく、そこに住む人々にも動物にもプラスになる生きた林に」

…観光資源としての利用を超えた、人と自然双方にメリットのある活用策の思案

#### 関連する組織

- ・中標津町森林組合
- ・NPO法人日本都市計画家協会北海道支部
- ・中標津町役場

## 19-6 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 住民が主体となって行政と協働 アーチ橋梁群を見守る まちづくり

NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会／北海道士幌町

#### 取組概要

昭和初期、旧国鉄士幌線に建設されたコンクリートアーチ橋梁群は、長い年月を経てその役割を終えていたが、平成9年に旧国鉄清算事業団により解体撤去されることとなった。

産業遺産として価値のあるこの橋梁群を残そうと、市民、行政、大学や民間企業の研究者などによる保存運動が展開され、34の橋梁が保存されることになった。

現在の士幌町では自然ガイド系、まちづくり系の2つのNPO法人が組織され、市民セクターが中心となって、行政と協働し、アーチ橋とその周辺自然环境の保全と、観光資源としての活用に取り組んでいる。



#### 取組と成果

##### 取組

- ・ひがし大雪鉄道アーチ橋を保存する会による橋梁群の保存運動
- ・NPOを先頭に町民が主体となつての橋梁群と士幌線跡の保全、観光資源化

##### 成果

- ・解体される運命にあった34の橋梁が保存されることになった
- ・平成13年には北海道遺産に選定され、「アーチ橋をめぐるツアー」等も行われている
- ・線路跡を利用した鉄道トロッコの運行がなされている

#### 山村振興のキーポイント

「自分たちでできることは、自分たちで行なうことが必要不可欠」

…2つのNPO法人が組織され、行政と協働で課題に取り組んでいる

#### 関連する組織

- ・NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
- ・士幌町役場

## 19-7 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 「地元学」から始まる 文化の継承活動と 地域の活性化

夏屋ろばた塾／岩手県川井村

#### 取組概要

平成13年に夏屋地区に立ち上げられた地域づくり組織「夏屋ろばた塾」、地域住民が炉端を囲んで自由に発言できる場という意味の込められたその組織により、地域住民自らの手で地域の自然、資源、個性等について調べる「地元学」が実践されている。

このろばた塾を中心に約470年に渡って伝承されている「夏屋鹿踊り」の保存活動に取り組んでいるほか、地元学を通して夏屋集落に古くから伝わる屋号に注目、全戸に手づくりの屋号表札看板が設置されるなど、地域文化の見直し・継承活動が行われている。

また、山菜等を使用した付加価値のある商品づくりや販売活動を進めるなど、地域資源を活かした農業振興にも力を入れている。



#### 取組と成果

##### 取組

- 夏屋鹿踊りの継承、屋号の復活等の夏屋ろばた塾を中心とした地元学の実践

##### 成果

- 集落住民が地元への愛着を深めると共に、「自分たちにもできる」という自信が生まれ、集落に活気が取り戻された

#### 山村振興のキーポイント

「自ら調べて詳しくならなければ、問題解決の当事者にはなりえない」

…夏屋鹿踊りの伝承等、若手も女性も取り組める活動を核にしての連帯感づくり

#### 関連する組織

・川井村役場

## 19-8 歴史・文化遺産の保全、生活文化の継承

### 焼畑で山おこし 焼畑の価値を再発見し 文化復興から地域振興へ

焼畑による山おこしの会／高知県仁淀川町

#### 取組概要

昭和61年に国無形民俗文化財に指定された「土佐の焼畑習俗」は平成になり全く見られなくなった。

火入れ後3～5年ほど輪作し、土地がやせてきたら30年間ほどの休耕後再び焼畑ができるような雑木林に返す。焼畑は自然循環型の土地利用方法であるとして再び注目されつつある中で、落葉樹の腐葉土を積もらせて山の保水力を高める方法を模索していた地元有志が「焼畑による山おこしの会」の支援を受け、平成17年より年5回、焼畑を実施。荒れた人工林を伐採して火を放ち、落葉樹の苗を植える活動を行っている。

また、同会の積極的な広報活動により県外にも認知されるなど、地域交流にもつながっている。



#### 取組と成果

##### 取組

- 数10aずつ年5回の焼畑の実施
- 焼畑サミットの開催、資料「焼畑で山おこし」の発行

##### 成果

- 焼畑農業の復活による地域文化の復興
- 村の伝統文化賞受賞

#### 山村振興のキーポイント

「活動の意義や対外的なアピールを念頭において行動することが大事」

…焼畑サミットや冊子による広報活動により、県外にも認知され、地域交流につながる

「多様な主体を巻き込んで、活動に弾みを」

…地域住民、大学等の教職員、大学生、NPO等で構成される組織運営

#### 関連する組織

・NPO法人土佐の森・救援隊 ・株式会社西日本科学技術研究所  
・高知女子大学／愛媛大学／高知大学

## 都市住民が荒廃した農地を再生 ボランティアによる 集落の資源管理

棚田ビレッジ会／香川県綾川町

### 取組概要

農家の減少により、棚田の遊休化や荒廃が進んでいた旧綾上町高尾集落。集落の棚田等を保全しようと、平成4年から旧綾上町で栗拾い等の活動をしていた「綾上ふれあいネットワーク」が母体となって平成14年にボランティア組織「棚田ビレッジ会」が発足。

会員は農業経験のない都市住民がほとんどであったが、地元農家のサポートを受けながら遊休農地の再生を行うなど、集落の資源管理・保全活動を行っている。

また、農作業の体験学習の場として、管理農地での田植えや稲刈り等のイベントを企画、実施し、交流活動の拡大を図っている。



### 取組と成果

#### 取組

- ・荒廃した棚田の再生・管理
- ・管理農地での野菜栽培
- ・地元小・中学生の農業体験の受け入れ

#### 成果

- ・約50aの遊休農地を再生
- ・収穫された野菜をボランティア会員へ配布
- ・地域交流の場となり、地域が活性化

### 山村振興のキーポイント

「使命感だけでは続かない。結果よりも過程を大事に、楽しむための工夫を」

…無理せず、地域の農家と協力しながら棚田の再生、野菜栽培に取り組んでいる

#### 関連する組織

- ・綾上ふれあいネットワーク
- ・綾川町役場

## みんなで農作業！ 都市農村交流による 農村景観の維持

みんなで農作業の日 IN 五箇山実行委員会／富山県南砺市

### 取組概要

経営耕地面積の96%を水田が占める南砺市は、全国でも珍しい「散居村」として独特の農村景観を形成している。その中でも旧利賀村は過疎化、高齢化の進展により、農地面積における耕作放棄地率が県内市町村の中でも極めて高く、平成11年時点で1割以上が耕作放棄されていた。このような危機的状況を受け、平成12年に村と農協が出捐して「(財)利賀村農業公社」を設立。村民総出で特産の「そば」の作付け日を設定し、地域住民が協働で汗を流した。

平成13年からは「そばオーナー事業」を開始、平成17年には合併により南砺市になったことから地域を拡大し、相倉集落での「棚田オーナー事業」、上平地域での「赤かぶオーナー事業」を展開している。現在は同市内にある五箇山農業公社も含め五箇山全域に活動を広げ、地域外からの参加者も増え、多くの交流人口を生み、失われつつあった農地及び景観が次々と再生されている。



### 取組と成果

#### 取組

- ・農業公社による耕作放棄地の復旧
- ・各種オーナー事業の展開

#### 成果

- ・平成12年度から9年間で約5.9haの耕作放棄地を復旧。農地と原風景の保全に寄与している
- ・全国各地からオーナーが集い、4年間で地域住民の人口をはるかに上回る延べ3,962人が参加している

### 山村振興のキーポイント

「保全への思いが地域の活性化へ結びつく」

…農地を何とか保全したいという思いからスタートした取組が、現在では五箇山での農業体験としてブランド化し、参加者の地域への愛着、受け入れ側の生きがい・やりがいの醸成に寄与している

#### 関連する組織

- ・財団法人利賀村農業公社
- ・富山県庁
- ・財団法人五箇山農業公社
- ・南砺市役所